

任の会 池田中国語講座 ・日時:毎週水曜日、(10月9日～)4回/月 14:40～15:40 ・場所:トアエル会議室 ・内容:入門(実用的な中国語を楽しく始めませんか!～) ・参加費:5,000円/月(教材は各自購入)随時体験・見学可(無料) ・申込み:問合せ先:任(ニン) Tℓ090-9878-3315 メール:ninse152719@yahoo.co.jp	ママの働き方応援隊 大阪池田校 活動説明会 ・日時:2019年①10月25日(金)②11月14日(木) ③12月6日(金)10:00～11:30 ・場所:池田市立コミュニティセンター1階「男女共生サロン」 ・内容:ママの働き方応援隊の活動説明とママの交流会。 お子様連れ大歓迎! ・参加費:無料 ・申込み:問合せ先:osaka-ikeda@mamaha.net(担当:田中)	きつづく・ 室内遊びの会 お下がり交換会 ・日時:2019年11月12日(火)9:50～11:30 ・場所:池田市立コミュニティセンター1階 ・内容:室内遊び、お下がり交換(持ち寄り、持ち帰りだけでもOK)。出入り自由、予約不要。 ・参加費:無料 ・問合せ先:kidsandtech01@gmail.com(担当:正井)
いけだんち 久安寺の住職のお話を 聞いて自分を見つめなおそう ・日時:10月22日(金)10:00～12:00 ・場所:久安寺 池田市伏尾町697 阪急バス久安寺停留所すぐ ・内容:美しい秋の紅葉のもと久安寺の住職の説法を聞き、 少し立ち止まって自分を見つめなおす。 ・参加費:500円(お点前、お茶菓子つき)お子様同伴歓迎 ・定員:20名 申込み・問合せ先:ikedanchi.info@gmail.com	異病院 ヘルスプロモーション ・日時:2019年①10月26日(土)②12月28日(土)14:00～15:00 ・場所:異病院総合リハビリテーションセンター ・内容:①筋トレ教室②ストレッチ教室 運動できる服装で来 院してください。 ・参加費:無料 先着順(定員15名)受付 ・申込み:不要 ・問合せ先:医療法人マックスシール異病院 リハビリテーション科 Tℓ072-763-5100	池田カラオケ 文化協会 第37回カラオケ 演歌まつり ・日時:2019年11月24日(日)10:00～19:00 ・場所:池田市民文化会館 大ホール(池田市天神1-7-1) ・内容:7グループ155人によるカラオケ発表会 ・入場:無料 ・問合せ先:池田カラオケ愛好会 長澤 Tℓ090-5098-0785
五月山児童文化 センター 大人の特別講座 ・日時:①10月23日(水)、②11月27日(水)、③12月11日(水)13:30 ～15:30 ・場所:五月山児童文化センター 図工室(池田市綾羽2丁目5-9) ・内容:毎月1回、素敵な講師さんと魅力的な内容で開催して いる大人向けのクラフト講座です。①「切り絵～年賀～」 (中野俊さん)②「ちぎり絵～年賀～」(小山 清子さん) ③「消しゴムハンコ～年賀～」(村田美菜子さん) ・参加費:①1,300円 ②500円 ③1,000円 ・定員:各10人 ・申込み:池田市立五月山児童文化センター (Tℓ072-752-6301)①10月2日より②11月2日より③12月4日より	多世代交流 ハッピーズ ひとり親・ワンオペ 育児の会 ・日時:2019年10月27日(日)13:00～15:00 ・場所:ばんまい奥の敷地内「学遊」 池田市鉢塚3-15-5A ・内容:ひとり親。ワンオペ育児の方の相談おしゃべり会 ・参加費:200円(1家族)ドリンク・お菓子付 ・申し込み:不要 ・問合せ先:072-752-4334(トアエル事務代行)	



情報誌トアエルは4月、7月、10月、1月(毎回10日)に発行予定です。イベント等の掲載やチラシの挟み込みを希望される方は、発行前月の10日までに事務局へご相談ください。メールマガジンでは、団体のイベント情報の他、助成情報なども配信いたします。配信・掲載を御希望の方はinfo@toael.jpまで必要事項をお知らせ下さい。●配信希望:氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレス●掲載希望:イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先など

情報誌 トアエル

第7号(年4回発行)

発行所:いけだ市活動交流エンジン「トアエル」
(池田市公益活動促進協議会)
発行日:2019年10月1日
デザイン:株式会社バード・デザインハウス
印刷:セイコープロセス株式会社
〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-1池田市立コミュニティセンター内
TEL 072-750-5133 FAX 072-750-5125 e-mail:info@toael.jp



https://toael.jp



阪急電車「池田駅」下車 徒歩7分

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あなたと会える、みんなと和える

トアエル toa el

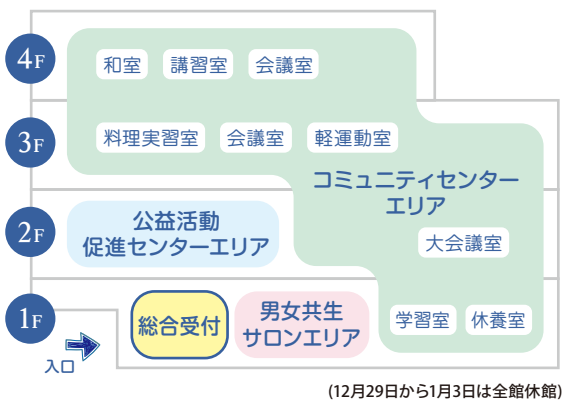
2019年秋号

toa el vol.7 autumn 2019



Webサイトが
リニューアル!
トアエル文化祭も
開催しました!

トアエルが提供する支援メニューや市民団体の情報を分かりやすく
届けるべくWebサイトをリニューアルしました。
文化祭では活動展示やステージパフォーマンス、ワークショップ
など42グループが出展、約300名に來場いただきました。



コミュニティセンター(通称:コミセン)

さまざまな用途で利用いただける貸室があります。
●開館時間:9時～22時(月曜休館)

公益活動促進センター(通称:センター)

社会貢献活動を行うためのサポートや貸室が
あります。

●開館時間:9時～19時(月曜、日・祝休館)
※貸室:前日予約により日・祝利用、21時までの利用が可
※日・祝:ロッカー利用可、17時閉館の場合あり

男女共生サロン(通称:サロン)

男女共生に関わる図書コーナー、授乳スペースが
あるほか、女性相談などを行っています。

●開館時間:9時～19時(月曜休館)
※日・祝:17時閉館の場合あり



【公式WEBサイト】が リニューアルしました!

市民活動に力を注ぐ皆様にとって、また、これから新しく活動をはじめようとする方々にとって、トアエルが提供する事業や支援メニュー、市民団体の情報を分かりやすく届けたい。そんな思いを込めて、ウェブサイトをリニューアル!「トアエルでどんなことができるの?」「どんな市民団体があるの?」などを分かりやすくまとめ、知りたい情報へスムーズにアクセスできるように工夫しました。今までは窓口でしか手に入らなかった様式もダウンロードできるようにするなど、利便性を高めました。情報は随時更新されますので、ぜひ新【公式ウェブサイト】へアクセスください。

<https://toael.jp/>

一般向けメニュー

トアエルをはじめて利用される方や、これからもっと活用していきたい人へ向けた基本情報をご紹介します。

- ・トアエルとは
- ・アクセス
- ・館内マップ
- ・スタッフ紹介
- ・情報誌トアエル
- ・貸室情報
- ・お問い合わせ



活動団体向けメニュー

トアエルですでに活動している団体に向けたメニューをご案内しています。

- ・公益活動団体一覧
- ・公益活動団体登録
- ・池田市助成金
- ・広報サポート
- ・イベント
- ・会議サポート
- ・事務サポート
- ・連携サポート
- ・スキルアップ支援
- ・様式集



PICK UP!

トアエルスタッフ紹介ページ

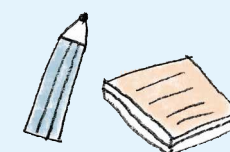
トアエルを運営する理事やスタッフの顔写真とコメントが、全員分ズラリと掲載されています。「トアエルってこんなに多くの人が関わっているの?」と、私たちもあらためて驚くほど、多様なスタッフがトアエルでみなさまをお迎えします。あなたの知っているスタッフを探しに、ぜひ一度、スタッフ紹介ページをご覧ください。



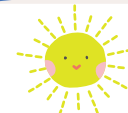
PICK UP!

各種サポートページ

物品貸し出しや事務代行など、トアエルで行なっている様々なサポートをご紹介します。「こんなものも借りられるの?」と、今まで知らなかった便利なレンタル物品が見つかるかも。情報誌トアエルでの告知や広告もご案内しています。



その他SNS等のお知らせ



お届けする情報の性格に応じて、様々なメディアから発信!

トアエルでは【公式ウェブサイト】以外にも、トアエルの事業の告知や実施報告の窓口としての【フェイスブック】をはじめ、相談しやすい雰囲気や関係づくりのために日々のトアエルの動きをお知らせする【Instagram】、各種イベントや助成金などの情報を整理してお届けする【メールマガジン】、そして市民団体のみなさんなど市内を中心とした各種情報をご紹介します【情報誌トアエル】など、時代やみなさま、トアエルの変化に応じて、情報伝達やコミュニケーションの手段を少しずつ進化させていきます。みなさまぜひご活用ください!

フェイスブック

Instagram

ホームページ





社会福祉法人
池田市社会福祉協議会
茂籠 さん
板谷 さん
高島 さん



池田市でうわさのあの人にtoael記者が 突撃インタビュー！



「**想**像で仕事をしない」が**合言葉**

今年で**70周年**の節目を迎えてなお

「**地域密着の福祉**」ファーストを貫く

それぞれの地域ニーズをくみとり
地域特性にあわせて活動

-今年で70周年、誠にありがとうございます
設立当時のお話からお聞かせ下さい

板谷:1949年8月に池田市で『社協』が立ち上がりました。15年間任意団体として活動し、社会福祉事業法の施行を受けて1964年に社会福祉法人化しました。その後、2008年に『池田さやわか公社』と統合して、保健福祉の事業や介護保険・障がい者総合支援事業も行うように。事務所は設立当初から市内を転々とし、2009年に現所在地の池田市保健福祉総合センターに移転してきました。

茂籠:よく「市役所の福祉部とはどちらなの？」と聞かれるのですが、『社協』は行政からは独立して、安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現に向けた事業を民間の視点や立場から行っている組織なんです。池田市は『社協』の結成が早く、全国でも5、6番目くらい。力のある市民が地域のためになる取組を推進しようと手をあげたのではないかな、と想像しています。



社協法人化時の役員

『社協』という呼び名を誰もが一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。知っているようで、知らない。関わっていないようで、実は自分の地域と密接に関わっている『社会福祉法人 池田市社会福祉協議会』の活動について、事務局長の板谷さんと事務局次長の茂籠さん、ボランティアセンター担当の高島さんにお話を聞きました。

地域と共に考えた様々な事業を
地域の人と共に展開する

-具体的にはどのような事業を
されていますか

茂籠:核となるのは、地域の方々に活躍いただく事業です。住民がボランティアで自分たちのまちや地域をよくするために『社協』と一緒に活動します。地域のみなさんと社協が、必要なことを共に考えてきた結果、「市民が主体になって進める活動の支援」の事業は現在21個を数えます。

社協さんの活動

■ 市民が主体になって進める活動の支援

1. 地区福祉委員会の活動

住民で構成された社協の実践組織「地区福祉委員会」の自主活動の支援。委員会は1975年に秦野小学校区で初めて設置され、市内各小学校区(11校区)に1つ設置されている。ふれあいサロン(シニア対象)/子育てサロン(親子対象)/おしゃべりサロン(多世代交流)/見守り・声かけ(シニア対象)など



2. ボランティアセンターの運営



地区にかかわらず、ボランティアに関心のある人や得意を活かしたい人に活躍いただくための支援。活動場所の提供/ボランティアを求める人とされた人のコーディネート/広報啓発/ボランティア保険の取り扱いなど(詳細はp.5~6を参照)

3. 福祉教育

当事者による小中高校での出前授業など、子どものころから「福祉のまちづくり」について学ぶきっかけづくり。小中高校の福祉教育の授業相談/授業で活用する福祉機材の貸出/福祉教育実践者の育成・支援



行政のサービスと違って、同じ事業名でも地域ごとのニーズに沿って、地域の人と一緒に実施しているので、内容に違いがあるのが特徴です。これらに加え、福祉相談の専門員やケアマネジャー、ヘルパーなど『社協』の職員が専門性やスピード感を持って進める事業をあわせて行う事により、あらゆるニーズに応えられるようになってきていると感じます。

■ 地域福祉推進のための事業

『社協』が企画した取り組みを地域の人にお手伝いいただいて実施する事業

1. 有償協力員派遣事業(にじの会)

高齢者や障がい者などに家事援助、話し相手、外出援助などを有料で行う会員制サービス

2. ファミリー・サポート・センター

育児中の会員に対して、援助会員が有償で子どもの預かりなどの育児支援を行う会員制サービス

3. 日常生活自立支援事業

認知症や障がいなどで日常生活に不安がある人に対して実施する福祉サービスの利用援助や金銭管理サービス

4. 福祉総合相談

(居場所「つむぎ」/各地域での「福祉よろず相談窓口」)

福祉の専門員であるコミュニティソーシャルワーカーによる相談および解決への支援

5. 広報啓発運動

広報紙「いけだの社協」の作成。住民の方に編集をお手伝いいただき、地域の生の情報を市民目線の分かりやすい内容で年4回発行

■ 保健福祉の事業、介護保険・障がい者総合支援の事業

『社協』の職員が直接行う在宅介護等の支援



みなさんの
こうなったら
いいな

いけだのボランティア人口は1%
啓蒙で人数を増やして
将来の活動につなげたい



社会福祉協議会って
なんですか？

社会福祉協議会(略称『社協』)は、地域福祉活動を推進する、営利を目的としない民間団体です。『社協』は、地域に暮らす人や民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力で成り立っています。地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざして、さまざまな活動を行なっています。1951年(昭和26年)に制定された社会福祉事業法(現社会福祉法)に基づき、全国の市区町村のほか、都道府県・指定都市および全国(全社協)と階層的に設置され、そのネットワークにより活動を進めています。運営資金の多くが行政の予算によるため、民間と公的機関の両方のメリットを生かした事業を展開しています。

<プロフィール>

板谷 実さん
(社福)池田市社会福祉協議会 事務局長。2017年3月まで池田市役所勤務。同年4月に池田市社協へ。

茂籠 知美さん
(社福)池田市社会福祉協議会 事務局次長。1989年に入局以来、30年に渡っていけだの社会福祉とともに歩む。

高島 修平さん
(社福)池田市社会福祉協議会 ボランティアセンター担当。2016年に入局。社協内のボランティアセンターでボランティア活動をサポートしている。

<インフォメーション・問合せ先>

社会福祉法人池田市社会福祉協議会
住所/563-0025池田市城南3-1-40池田市保健福祉総合センター1階
TEL/072-751-0421
FAX/072-753-3444
HP/http://www.i-shakyo.or.jp/
設立年月日/1949年8月7日(法人認可 1964年2月24日)

<トピックス>

求む!社協会員
『社協』の収入の多くは市からの補助金や事業収入などですが、『社協』本来の地域福祉活動は、皆様からの社協会員会費が主な財源になっています。ご協力をお願いいたします。詳しくは電話(072-751-0421)まで。



宣真ボランティアサークル
高齢者施設でのレクリエーション活動

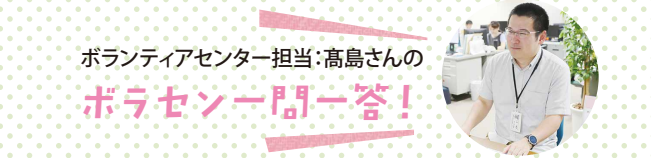
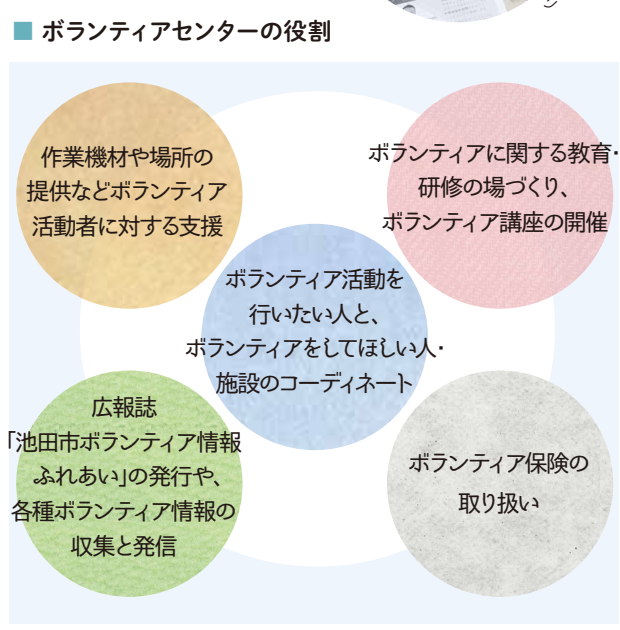


市民が、住んでいる地域の力になれる。 ちょっと助けてほしい時に頼れる。 それが地域のボランティアセンター。

みなさんはボランティア活動をしたこと、されたことがありますか。池田市には、市内で活動する団体や個人のボランティアを支援したり、ボランティアをしたい人としてほしい人をつなげたりしている『池田市ボランティアセンター』があります。『ボラセン』では一体どんなことができるのでしょうか。実際に足を運んでみました。



住 民一人ひとりのボランティアに関する意識・理解を高めて地域のニーズに対応できるボランティアを養成し、ボランティア活動の推進を図ろうと、国からの福祉ボランティアの町づくり事業補助金を受けて1989年に『ボランティアセンター』（略称：ボラセン）ができました。当時、池田市民やボランティア団体からもその必要性が叫ばれ設置されたもので、池田市社協が運営することになりました。当時は、法務局あと（満寿美町）をはじめ社協の事務局に併設されていましたが、社協の保健福祉総合センターへの移転にともない、2009年に池田駅前ステーションNの地下1階の会議室に『ボラセン分室』として移転しました。現在は市内31（2019年4月現在）のボランティアグループが登録し、分室を中心に会議や活動を行っています。『ボラセン分室』は、団体同士がゆすり合いながら自主的に運営されています。



ボランティアセンター担当：高島さんのボラセン一問一答！

池田市にはどんなボランティアグループがおられますか？

ボラセンには現在、傾聴や編み物、点字、拡大写本、音訳、手話、要約筆記、一時保育、マジック、折り紙、園芸、パソコン、楽器演奏、古本リサイクル、日本語学習支援、地域社会への貢献、まちづくりの推進、学生ボランティアなど、市内31の団体（2019年4月現在）が登録しています。登録すると、活動場所として分室の部屋が利用できたり、PCや小ロッカー、倉庫、コピー機（モノクロ）などの事務機器が借りられるなどの優遇があります。



SAIくだ 高齢者施設でのレクリエーション活動
声の図書 視覚障がい者に対する対面朗読の活動
モノクロコピー機

グループ活動以外にも、個人単位の活動もありますか？

はい、もちろん個人で行う活動もあり、個人で登録されている方も。登録グループにはないジャンルのボランティアリクエストに応える方もおられ、グループ活動と同様にボラセンで応援しています。

ボランティアをしたことがなくてもできますか？

「小学校が夏休みの時だけ親子で」「退職して」「子どもが大きくなったので」と、様々なきっかけで「ボランティアを始めようかな」と思われるかたがいます。大、大、大歓迎です！専門的な知識を必要とするものもありますが、気軽に始められるものもあります。ボラセンはいつでも「はじめてのボランティア」を応援しています。また不定期ですが、ボラセン主催の「ボランティアきっかけ講座」という入門講座を開催しています。こちらまでお問い合わせください。



夏のボランティア体験 夏祭りのお手伝い2018



公共施設の魅力を紹介しながら新しい公共施設のあり方を探るコーナー
池田市ボランティアセンター編
※『ボラセン』は市が所有・運営するものではないため厳密な意味での公共施設ではありません

ボランティアセンター分室をご紹介します！



お試しにボランティア活動を1度やってみたい

1回だけの活動として、市内の施設からボランティア募集（時期によっては施設のお祭りやイベントなどへのボランティア募集など）があります。また、大阪府ボラセンと共催の「夏のボランティア体験プログラム」では、誰でも気軽にボランティア体験ができます（7月頭～9月末まで）。子どもや学生、社会人、シニアなど、どなたもお気軽にご参加ください。ご家族やグループでの参加も大歓迎です。

ボランティアグループに参加したいときは？

興味のあるボランティアが見つかったら、まずはボラセンまでお問い合わせください。すべてのグループがボランティア募集をしているわけではありません。また、募集はしていても、指定するボランティア講座の受講など参加条件を設定しているグループもあります。

トアエルでも、ボランティア活動や団体の設立相談、活動場所の提供ほか各種支援メニューを提供しています。社協・ボランティアセンターとも連携を深めて、みなさんの活動を応援します。



〈インフォメーション〉
池田市ボランティアセンター分室
住所：〒563-0055 池田市菅原町3-1 ステーションN地下1階
開館日：年末年始を除く全日
開館時間：9:00～21:00
HP: <http://i-shakyo.or.jp/vc/>
登録費：無料
※登録グループになるにはボランティアセンターへ申請のうえ審査が必要です

〈問合せ先〉
池田市ボランティアセンター（池田市社会福祉協議会内）
住所：〒563-0025 池田市城南3-1-40 池田市保健福祉総合センター1階
TEL: 072-753-8858